

# 社会福祉学 カリキュラム・マップ

目的	【大学院の目的】 キリスト教に基づく人格教育と学問の自由を基礎として、学術についての理論及び応用を研究・教授し、もって人間の文化と社会福祉の増進に貢献することを目的とする。この目的を達するために、広い視野に立って専攻分野における研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要とされる卓越した能力を涵養する。		
	【社会福祉学研究科の目的】 社会福祉に関する歴史・制度・政策およびソーシャルワークに関する諸問題の把握、分析・考察を通して、個々の福祉問題に対応できる人材を育成する。		
ディプロマポリシー	DP1 社会福祉に関する歴史・制度・政策およびソーシャルワークに関する諸問題の把握、分析・考察する能力		
	DP2 高度な専門性を要する職業等に必要とされる知識・技術を習得し、個別具体的な生活問題に対応する能力		
	DP3 専門的な職業等で必要とされる新たな力を主体的に学習する能力		
科目区分	人間福祉特論科目	人間福祉実習科目	人間福祉演習科目
2年次		福祉援助技術領域実習 (DP1.DP2.DP3) 福祉制度運営領域実習 (DP1.DP2.DP3)	人間福祉演習A (DP3) 人間福祉演習B (DP3) 人間福祉演習C (DP3) 人間福祉演習D (DP3)
1年次	キリスト教社会福祉特論 (DP1.DP2) 社会福祉原論研究 (DP1.DP2) 社会科学研究方法特論 (DP1.DP2) 福祉実践人間論特論 (DP1.DP2) 生涯福祉特論 (DP1.DP2) 福祉援助技術特論Ⅰ (DP1.DP2) 福祉援助技術特論Ⅱ (DP1.DP2) 臨床心理学特論 (DP1.DP2) 児童家庭福祉特論 (DP1.DP2) 高齢者福祉心理学特論 (DP1.DP2) 人間福祉教育特論 (DP1.DP2) 障害者福祉特論 (DP1.DP2) 福祉行政特論 (DP1.DP2) 社会福祉法制特論 (DP1.DP2) 福祉情報科学特論 (DP1.DP2)		
カリキュラムポリシー	人間福祉特論科目において理論的・実践的な知識の修得を目指す科目を編成する。		
		人間福祉実習科目において経験から具体的な支援過程の修得を目指す科目を編成する。	
			人間福祉演習科目において文献研究・調査研究をとおした修士論文の作成を目指す科目を編成する。
アドミッションポリシー	社会福祉学研究科は、下記の者を受け入れる。 1. 社会福祉学に関する基礎的知識(学部卒業程度)を有する者で、高度な専門的能力の修得を目指す者 2. すでに社会福祉分野で職業人として活躍しており、更なる能力向上を目指す者 3. 現代の社会福祉に関連する諸問題を解決するための研究力あるいは実践力の修得を目指す者 入学選抜は、筆記試験、面接試験、書類選考により行う。		